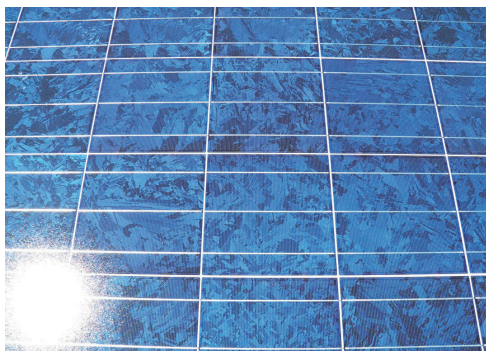


# 地球温暖化を 防ぐために 何をしよう？



**NPO法人**  
**足元から地球温暖化を  
考える市民ネット  
えどがわ(足温ネット)**  
Edogawa  
Citizen's network for  
Climate Changes (ECCC)

# 地球温暖化問題 私たちに 残された時間は あとわずかです。

私たちは、1997年に結成された環境NPOで、「足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ」と言います。名前が長いので、略称は「足温(そくおん)ネット」。東京・江戸川区で活動しています。



1997年1月に開催した  
結成イベント

# 4.8 °C

【4.8度】  
地球温暖化によって、2100  
年時点での平均地上気温が産  
業革命前から上昇の最大値  
※ IPCC 第5次報告

● 毎年、地球の平均気温は上昇し続けています。エネルギーの消費など人間活動によって生まれる二酸化炭素などの温室効果ガスによって。氷河期の100倍とも言われる急激な気温の上昇は、海面上昇や異常気象を引き起こし、世界各地で洪水や干ばつ、病虫害など、人類に大きな影響を及ぼしています。これは、日本も例外ではありません。

● 世界各国は、地球温暖化(=気候変動)を防ごうと「気候変動枠組み条約」を作り、その具体的な方法を定めるための国際会議を毎年開いています。1997年には、日本の京都で第3回目の会議が開かれました。私たちは、国際交渉の場で、地域で市民ができることがあると会議の場で訴えるべく、足温ネットを結成しました。

# 太陽の光で 発電する 市民立発電所を 建設しました。



市民発電プロジェクト  
「えど・そら」2号機

温暖化をもたらす温室効果ガスの中で最も多い二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)は、エネルギーをつくる過程で生まれます。そこで、CO<sub>2</sub>を出さない再生可能エネルギーによる市民立発電所を建設し運営しています。

# 7,507 万kW

7507万キロワット  
固定価格買取制度により設備  
認定された再生可能エネルギー  
発電出力(2015年1月末現在)  
※資源エネルギー庁

● 1999年7月に区内の寺院・寿光院の屋根に設置した「市民立・江戸川第一発電所」(出力5.4kW)は、計画から資金集め、設置、運営まで全て市民関わった市民立の発電所です。余った電気は電力会社に販売しています。2007年には区内の高齢者施設・ほっと館の屋根に第二発電所(出力4.9kW)を建設しました。グリーン電力証書も作りました。

● 太陽光発電は設置にお金がかかるため、環境にやさしい電気として高く買い取る必要があります。2012年7月に再生可能エネルギー推進特別措置法に基づく、全量固定価格買取制度のスタートに伴い、えどがわ市民発電プロジェクト「えど・そら」を立ち上げ、1号機(10.58kW)および2号機(11.52kW)を建設し、売電事業を行っています。

# 省エネによる 市民節電所の 建設にも 取り組みました。



再生可能エネルギーの普及以上に大切なのが省エネルギーです。省エネは、余ったエネルギーを「生み出す」という点で発電と同じです。私たちは、発電所ならぬ「節電所」づくりに取り組みました。

区内イベントで省エネ家電への買い替えをよびかける

# 621.3 kWh

【621.3キロワット時】  
省エネ家電買い替えモニター  
58件の平均年間節電量  
※平成19年度環境省モデル事業

● 2003年から始めた「省エネ家電買い替えサポート事業」では、冷蔵庫を省エネ型に買い替える希望する会員に、節約できる電気代相当額を無利子で融資しました。そして、省エネ型に買い替えることで、冷蔵庫の電力消費量は半分になります。省エネ家庭は、エネルギーを生み出す「節電所」であり、都市部では、節電所づくりが有効です。

● また、省エネ家電の課題の改善にも貢献しました。2005年には、冷蔵庫の消費電力量がカタログ値と実測値で異なることが分かり、政府に働きかけJIS規格の改善に結びつけました。2010年には、エアコンの性能試験で過去に偽装があったことが分かり、政府に問題点の解明を求め、消費者庁から家電メーカーに情報提出命令を出させました。

# 市民や行政に 足元からの 取り組みを 訴えています。

これまでの活動実績をもとに、地球温暖化問題をテーマにしたワークショップや学習会の開催、講師の派遣、発電所への見学受け入れ、行政へのエネルギー政策提言など積極的に行っています。



原発事故を機に作成した  
環境絵本『ハルナのちから』

# 14 %

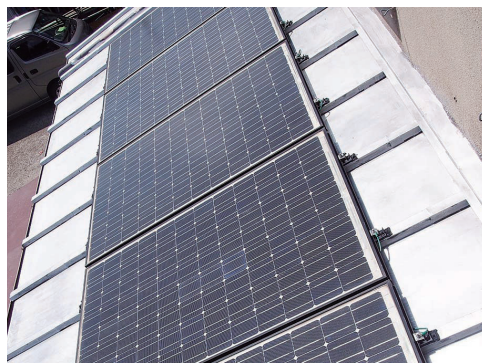
〔14パーセント〕  
エコタウンえどがわ推進計画  
2017年度までのエネルギー  
起源CO<sub>2</sub>削減目標  
(2004年度比)

● 進行する地球温暖化を防ぐには、多くの市民の理解が必要です。私たちは、学習会の開催、江戸川区環境フェアへの出展などを通じて地球温暖化対策の必要性を訴えています。環境絵本『ハルナのちから』も作りました。また、他団体が主催するイベントへの出展や学習会などへの講師派遣、外部からの見学を受け入れています。

● 一方、行政に対して政策提案も行っています。江戸川区に対して、省エネ家電買い替えサポート事業の実績を元に、区議会を通じて省エネの重要性を訴えたところ、区は省エネ改修事業を実施しました。また、区が2008年に策定した「エコタウンえどがわ推進計画」の策定に関わったり、省エネ事業の企画立案に参画したりしました。

# エネルギー自給が高まると 家計と地域経済に プラスです。

電力会社による地域独占の中で、大型発電施設に依存した電力供給は、家計や地域に高い電気料金を負担させてきました。エネルギー自給を高めることで、家計や地域からの富の流出を防ぐことができます。



オフグリッドハウス「松江の家」  
の太陽光発電パネル

# 0.48 %

【0.48パーセント】  
江戸川区の地域的エネルギー  
自給率

※千葉大学倉阪研究室「環境エネルギー政策研究所『永続地帯2014年度報告書』」

● 家庭1世帯が年間に消費する電力は平均4,618kWh※、電気料金では約10万円の負担です。30万世帯の江戸川区からは毎年約300億円が失われ、家計や地域経済にとって大きな負担です。もし、1割を節電・省エネすれば30億円が地域に残る計算になり、地域経済にとってプラスに働くでしょう。

※資源エネルギー庁「平成21年度民生部門エネルギー消費実態調査」

● 家庭で省エネが進めば電力会社の契約アンペア数を減らし、電気料金の基本料金が安くなります。また、地域に身近な事例を作ろうと、太陽光発電だけで点灯する照明の設置、移動式・太陽光発電システムの作成、太陽光発電による電気だけでまかなうオフグリッドハウス作りに取り組んでいます。

# 私たちは 原発に頼らない 低炭素社会を めざします。

地球温暖化問題は、エネルギー問題と言っても過言ではありません。化石燃料に頼らず、危険な原発を手放すには、省エネの推進と再生可能エネルギーへの転換による低炭素社会の実現が必要です。



脱  
原  
発  
ア  
ク  
シ  
ヨ  
ン  
原  
発  
事  
故  
の  
後  
に  
開  
催  
し  
た

# 27 兆円

〔27兆円〕  
日本が海外から輸入している  
鉱物性燃料の年間輸入額  
※財務省貿易統計

● 日本は、毎年20兆円以上のお金をかけ石油やガスといった化石燃料を海外から買っています。そして、資源をめぐる世界中で紛争が発生し、罪のない人々が殺されています。また、原子力発電は人体に有害な放射能を出し、大型の発電ダム開発は自然を破壊します。地域は受け入れをめぐる対立に疲れ、地域社会を壊してきました。

● 世界では新設される発電所の多くが再生可能エネルギーであり、発電量で原子力発電に肩を並べた国もあります。原発事故を経験した私たちは、犠牲をともなう命がけの温暖化対策ではなく、再生可能エネルギーや省エネの推進により、原子力発電に頼らない低炭素な地域社会をめざして活動しています。ぜひ、応援してください。

## 活動に参加しませんか

### ■会員制度

- 運営会員 積極的に運営に関わりたい
- 支持会員 活動を応援したい
- 会費 ともに年間1,000円

運営会員は、法人社員として総会での議決権を有します。支持会員は議決権はありませんが、総会で意見を述べるすることができます。活動に参加したい方は、事務局までご連絡ください。

### <郵便振替>

口座番号:00120-8-353243

(ゆうちょ銀行019支店 当座 353243)

加入者名:足元から地球温暖化を考える  
市民ネットえどがわ

### ■会報『あしもと通信』

- 年4回発行

## 運営体制

### ■法人役員

- 代表理事 奈良 由貴
- 理事 山崎 求博(事務局長)
- 理事 大河内秀人
- 理事 藤居阿紀子
- 理事 柳澤 一郎
- 監事 大栗ひろみ

■運営委員会(月1回開催)  
理事および運営会員で構成

## お問い合わせ

〒132-0033  
東京都江戸川区東小松川 3-35-13  
ニックハイム船堀 204  
小松川市民ファーム内  
FAX:03-3654-9188  
E-mail:info@sokuon-net.org  
http://www.sokuon-net.org

\*ご連絡はE-mail、FAXでお願いします

## 活動のあしあと

- 1997. 1 足温ネット立ち上げ集会
- 6 市民フロン回収プロジェクト実施
- 9 江戸川区がフロン回収事業開始
- 11 気候変動枠組み条約第3回締約国会議(京都会議)に参加
- 1999. 7 市民立・江戸川第一発電所を建設
- 2001. 4 グリーン電力証書 EDOGA-WATを発行
- 2003. 4 『省エネゲーム』を出版
- 8 省エネ家電買替サポート事業開始
- 2004. 5 愛・地球博に出展
- 2006. 12 えどがわ油田開発プロジェクトに参加(2009年に中止)
- 2007. 2 設立10周年記念イベント
- 4 江戸川区「エコタウンえどがわ推進計画」策定に関わる
- 6 環境省「省エネ家電普及事業」受託
- 9 市民立・江戸川第二発電所を建設
- 2008. 7 テレビ東京系列「ガイアの夜明け」で活動紹介される
- 2009. 9 江戸川区に家庭向け省エネ事業提案
- 2011.3.11 東日本大震災&福島原発事故発生
- 6 脱原発アクション「えどがわ未来ウォーク」を実施
- 2012. 3 環境絵本『ハルナのちから』を出版
- 2013. 2 台湾民主進歩党来日代表団が来訪
- 4 市民発電プロジェクト「えど・そら」1・2号機による全量発電事業開始
- 2015. 4 オフグリッドハウス松江の家が完成

## 案内図

